

環境時代の ビルディングエンベロップを 考えるシンポジウム in 東大

～省エネ・健康リフォームをいかにして普及させるか～

〔CPD認定プログラム（4単位）〕

参加費 **無料** (定員: 400名)

日時

2014年11月20日(木)
13:10～17:05 (開場12:30)

場所

東京大学
伊藤国際学術センター
(伊藤謝恩ホール)

我が国のエネルギー需給、及び、国民の健康増進の観点から眺めると、5千万戸を超える既築住宅の断熱性能向上が喫緊の大きな課題です。本シンポジウムは、この課題に取り組むために、住宅を所有し住まう立場、住宅を設計・施工する立場、建材を供給する立場など、様々な立場から発言をいただき、住宅のリフォームに関わる様々な課題を整理すると共に、いかにして省エネ・健康リフォームを普及させるか、ということについて皆で論議し考えようというものです。大勢の皆様のご参加を期待しています。

プログラム

- 13:10～13:15 **趣旨説明** 坂本 雄三 (独立行政法人建築研究所理事長)
- 13:15～13:25 **来賓挨拶**
- 13:25～13:55 **講演1** 「既存住宅をどうすれば健康で省エネに改修できるのか」
南 雄三 (住宅技術評論家)
- 13:55～14:25 **講演2** 「実践報告/省エネリフォームの魅力に住まい手と伝える」
寺尾 信子 (株寺尾三上建築事務所 代表取締役)
- 14:25～14:55 **講演3** 「高経年住宅団地省エネリフォームの実践と合意形成」
花牟禮 幸隆 (株アール・アイ・エー 参与)
- 14:55～15:05 <休憩>
- 15:05～16:50 **パネルディスカッション**
テーマ「省エネ・健康リフォームをいかにして普及させるか」
コーディネーター：坂本 雄三
モデレーター：南 雄三
パネラー：喜多 計世 (喜多ハウジング(株) 代表取締役会長)
浴野 隆平 ((一社)プレハブ建築協会 住宅ストック分科会 代表幹事)
三澤 文子 ((一社)住宅医協会 理事)
吉田 格 (株LIXIL 営業企画統括部 ハウジング企画部 部長)
鶴澤 泰功 (日本モーゲージサービス(株) 代表取締役社長)
- 16:50～17:00 **シンポジウムまとめ** 坂本 雄三
- 17:00～17:05 **主催者挨拶** (塩ビ工業・環境協会)



会場のご案内



交通のご案内

- 地下鉄丸の内線「本郷三丁目駅」 徒歩8分
- 地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」 徒歩6分
- 地下鉄千代田線「湯島駅」または「根津駅」 徒歩15分

参加申込締切り

- 定員（400名）になり次第、締切らせて頂きますのでお早めにお申込下さい。
- 折り返し受理書をE-mailまたはFAXにてご連絡致しますので、当日ご持参下さい。
- 問合せ先 TEL：03-3297-5601（塩ビ工業・環境協会 高村／長縄）
下記によりFAX（03-3297-5783）またはE-mail（info@vec.gr.jp）にてお申込下さい。

参加申込

環境時代のビルディングエンベロップを
考えるシンポジウム IN 東京大学（2014年11月20日(木)）

FAX 03-3297-5783

フリガナ			
ご芳名			
会社名		ご所属・お役職	
電話番号		FAX番号	
E-mail		CPD番号 (認定の必要な方のみ)	